

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.1 : 左肘打撲

No. 1 佐藤 友美 38歳 女性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 0分後  
受傷状況: 転倒して左肘を打つ  
主症状: 左肘の疼痛・皮下出血  
救護所まで: 自力歩行  
呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: N/A  
血圧: N/A 意識: 清明  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 左肘打撲  
手当・処置: 鎮痛



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

左肘に「打撲痕」と明記したテープを貼る

TATOO シール: 皮下血腫 7×5cm 楕円

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 左肘をぶつけてけがをしている。動かすと痛い。

登場: 手で左肘を押さえながら。  
「肘が痛いので見てほしい」→不安そうに

演技: 救護者の指示に従う。「歩けますか?」→歩く。  
肘を強くぶつけて痛い。軽く肘を曲げている。  
左肘を触られたり、曲げられると痛がって顔をしかめるが、左肘の曲げ伸ばしは可能。  
左手の感覚や運動は問題なし。  
いつもよりも少し大げさに「痛い痛い痛い」という感じに痛がる。周りの気を引く感じで。

### 【トリアージ後】

待機期間中も心配になり「このままで大丈夫でしょうか?」と周りに声をかけても良い。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.2 : 左下腿部打撲擦過傷

TATOO シール

No. 2 根岸 梅太郎 48歳 男性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 0分後  
受傷状況: 倒れていた棚につまずいて  
主症状: 左下腿部の腫脹・疼痛、擦過傷による出血  
救護所まで: 自力歩行  
呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: N/A  
血圧: N/A 意識: 清明  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 左下腿部打撲擦過傷  
手当・処置: 圧迫止血、包帯、鎮痛



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: 擦過傷 10×5cm 不整形

メーキャップ: 左下腿部に擦過傷の模型を装着する。

## 演技のポイント

状態: 足(膝から下)をけがしているが、うながされると歩ける。

登場: 座り込み左足のスネを押さえながら痛いと訴える。  
「打っただけだと思うんですけど、心配で…」ズボンの裾を上げて傷を見せる。

演技: 傷の確認時に、少し大げさに「痛い痛い」と言う。  
救護所に入ってくる時、移動する時はすこし足を引きずる。  
大げさに言って、救護者の気を引く。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.3 : 腹腔内出血

No. 3	加藤 裕之	60歳	男性
トリアージ区分:	①赤→②赤		
投入時間:	3分後		
受傷状況:	コピー機と棚に挟まれ、腹部を強打		
主症状:	顔面蒼白、冷汗、腹痛、腹膜刺激症状		
救護所まで:	担架で搬送		
呼吸:	15回/分	橈骨動脈:	触れない
CRT:	3秒	脈拍:	120bpm
血圧:	70/40mmHg	意識:	清明
歩行:	不能	既往歴:	なし
傷病名:	腹腔内出血		
手当・処置:	輸液、FAST、保温、搬送		



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡:すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症:生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度:呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷:軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール:腹部アザ(臍部を中心に青いアザ)

メーキャップ:顔面蒼白

青白く化粧する。または顔写真やイラストで表現し首から下げる

## 演技のポイント

状態:体の中でどこかの内臓が損傷されて、おなかの中が血だらけな状態。ほっておくと死の危険が高い。

登場:床にぐったりと横たわり、呼吸を荒くして、おなかを押さえながら「うー、うー」となる。呼びかけには反応できる。

演技 意識はしっかりしているが、ぐったりしている。

目は半開きだが、閉じない(目を閉じると意識の評価が変わってしまう)。

お腹を触られない限り、自ら痛がることはしない。

顔をしかめてハアハアと辛そうにする。

深く息をすることが出来ない為、浅く早い呼吸を繰り返す。(呼吸回数は1分間に30回を超えるようにする。超えないと違うトリアージレベルに分けられる。)

痛みと早い呼吸のため、話しかけられてもうまく話せない。連続で話せるのは、2語程度。

お腹を触られたときには、お腹をふくらませて力を入れ「痛い!!」と強く反応する。

腹部の診察時、押されても、押していた手を離れた時もどちらも痛がる。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.4 : 左大腿骨折→急性硬膜外血腫

No. 4	勅使河原 薫	68歳	男性
トリアージ区分:	①黄	→	②赤
投入時間:	3分後		
受傷状況:	避難時に階段で将棋倒しになった。		
主症状:	左大腿の変形・腫脹、後頭部痛		
救護所まで:	担架		
呼吸:	20回/分	橈骨動脈:	触れる
CRT:	1秒	脈拍:	N/A→100bpm
血圧:	N/A→190/100mmHg	意識:	清明→E1V1M4
歩行:	可能	既往歴:	なし
傷病名:	左大腿骨骨折→急性硬膜外血腫		
手当・処置:	固定、鎮痛、急変後に挿管、点滴、FAST		

TATOO シール



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡：すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症：生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度：呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷：軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

左大腿部に「大腿変形」「腫脹」頭部に「後頭部こぶ」と明記したテープを貼る

TATOO シール：大腿青アザ

メーキャップ：なし

## 演技のポイント

状態：当初は意識もしっかりしており、足の痛み、頭の痛みを訴えられる  
搬送を待つ間に急変し意識がなくなる。

登場：足を痛がり横たわっている。意識はしっかりしている。

救護者「どうしました？」

「左足が痛い～。さわるな～。頭も少し痛のかな。」

救護者「歩けますか？」

「歩けるわけないだろー！よく見ろ！」(症例カードが歩行可能になっているがよいのか?)

演技 急変前→自分の症状を説明できる。痛みの度合いは足の痛み>頭の痛み。興奮気味に痛がる。搬送を待つ間に頭の痛みが強くなる。「頭が頭が痛いよ！」「頭が頭がすごく痛い！！助けてー」と何度も繰り返し訴える。その後意識をなくす。

急変後→救護者が登場し状態を確かめる。呼びかけられても肩をたたかれても応答はしない。声は出さない。体も動かさない。救護者の痛み刺激(胸のあたりを強く押す)による状態の確認には体を少しよじるようにする。胸を押している救護者の手は払いのけられない。声も出さない。急変後は目を開けない。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.5 : 顔面打撲、前額部擦過傷

TATOO シール

No. 5 竹山 昭英 56歳 男性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 3分後  
受傷状況: 棚から滑り落ちてきた広辞苑が顔面を直撃  
主症状: 右目腫脹、右前額部擦過傷からの出血  
救護所まで: 自力歩行  
呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: N/A  
血圧: N/A 意識: 清明  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 顔面打撲、前額部擦過傷  
手当・処置: 圧迫止血、鎮痛



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

「右眼周囲腫脹」と明記したテープを貼る

TATOO シール: 皮下血腫 7×5cm 楕円

メーキャップ: 右眼アザ

## 演技のポイント

状態: 意識はしっかりしており、歩行も可能。  
右目の腫れは強く、開けることができない。  
額にも腫れと出血がある。

登場: 右眼を抑えて「右眼が開かない!」と痛がる。

演技: 傷病者が近づくと、「目が!目があー!」と渾身の演技。  
右目の腫れは強く、触ると痛がる。  
救護者が右眼を開けようとしても、腫れが強くて開かない。  
額の出血は少量で、自分では気づいていない。  
第三者に指摘されると、「大丈夫なんですか?」と心配そうにする。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.6 : 左肘脱臼

TATOO シール

No. 6 長島 拓也 26歳 男性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 3分後  
受傷状況: 避難時に転倒して、左肘が逆に曲がった。  
主症状: 左肘の疼痛・腫脹  
救護所まで: 自立歩行  
呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: N/A  
血圧: N/A 意識: 清明  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 左肘脱臼  
手当・処置: 固定、鎮痛



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

左肘に「変形腫脹」と明記したテープを貼る

TATOO シール: なし

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 左肘を脱臼している。痛みがあり、曲げることはできないが手を握ったりはできる。感覚は問題ない。触られるとわかる。

登場: 左手を“だらん”とさせて「肘がとても痛いのですが…」

演技: 左肘を“だらん”とさせ、力を入れたり動かしたりしたくない。意識ははっきりしている。「痛いー」とおおげさに叫んだり、早く自分を見てほしいアピールをする。例えば、救護所の人や医療者が来ない場合「痛い痛い痛い。早くこっちも見てくれよー」「ほったらかしかよー」と気をひく。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.7 : 右鎖骨骨折

TATOO シール

No. 7 秋實 章太 19歳 男性

トリアージ区分: ①緑

投入時間: 3分後

受傷状況: 避難中、角を曲がって来た人とぶつかり転倒

主症状: 右鎖骨の圧痛・変形・腫脹

救護所まで: 自力歩行

呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる

CRT: 1秒 脈拍: N/A

血圧: N/A 意識: 清明

歩行: 可能 既往歴: なし

傷病名: 右鎖骨骨折

手当・処置: 三角巾、鎮痛



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

右鎖骨に「鎖骨変形」と明記したテープを貼る

TATOO シール: なし

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 右の鎖骨を骨折している。右腕は動かすことが出来ない。手首、肘などを単独で触られても痛くないが、手を動かそうとすると、とても痛い。鎖骨を直接押されると、飛び上るほど痛い。

登場: 右腕をかばうようにしながら痛みがあると話す。

演技: けがをしているところは服を着ていて見えないが、右腕をかばうようにする。

動かそうとされたりした場合、「痛い!!」と声を上げる。

救護所の人たちの注意をひきつけ、早く自分を見てほしいと要求する。

### 【トリアージ後】

救護所にいる不安や気持ちの変化を表現する。救護者が誰もいなくなった時など、心配になり周りの様子を見に行く、家族と連絡を取りたいと要求する、「いつまでここにいないか」と詰め寄る。腕が動かない状態なので、「腕は動くようになりますよね」と不安を訴える。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.8：両下腿脛骨・腓骨骨折

No. 8 浮谷 洋一 38歳 男性

トリアージ区分： ②黄

投入時間： 8分後

受傷状況： 倒れてきたラックに両下腿を挟まれた。

主症状： 両下腿の圧痛・変形・腫脹

救護所まで： 担架

呼吸： 20回/分 橈骨動脈： 触れる

CRT： 1秒 脈拍： N/A

血圧： N/A 意識： 清明

歩行： 不能 既往歴： なし

傷病名： 両下腿脛腓骨骨折

手当・処置： 固定、鎮痛

TATOO シール



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡：すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症：生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度：呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷：軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

両下腿に「変形」と明記したテープを貼る

TATOO シール： 両下腿アザ アザのサイズは手のひら程度、左右同じでよい。

メーキャップ：なし

## 演技のポイント

状態： 両足（スネの部分）を骨折している。自力歩行は不可能。動かせない。

登場： 座った状態で、両足を前に投げ出して「両方の足が痛いー」と大声で訴える。

演技： 話すことはできる、自分の今の状態を強くアピールする。

両足のスネが腫れており、曲がっている。骨は見えない。出血はしていない。

スネを触られると、飛び上がるほど痛い。

両足の甲・指・足関節の感覚・運動は正常。

### 【トリアージ後】

救護や医療従事者が自分から離れていきそうになった時には特に「痛い！！」と自分に注意が向くような言動する。歩けるようになるか不安そうな表情をする。



# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.9 : 右前腕切創

TATOO シール

No. 9 田邊 正夫 41歳 男性

トリアージ区分: ①緑

投入時間: 8分後

受傷状況: 落下してきたガラスの破片で右前腕を切った

主症状: 右前腕切創

救護所まで: 自力歩行

呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる

CRT: 1秒 脈拍: N/A

血圧: N/A 意識: 清明

歩行: 可能 既往歴: なし

傷病名: 右前腕切創

手当・処置: 圧迫止血、包帯包帯、鎮静



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: 右前腕切創 写真のまま(切り傷)

メイクアップ: なし

## 演技のポイント

状態: 右腕をガラスで切ってしまった状態で、出血もしている。医療機関で縫い合わせるなどの治療が必要である。傷口に細かいガラスが残っている。

登場: 右手の出血しているところを押さえながら「腕を切ってしまったのですが…」とても落ち着いている。

演技: 意識もはっきりしていて、自分の状態を冷静に相手に伝えられる状態。救護の指示にも素直に従う。縫い合わせる処置が必要と伝えると「手指が動くから結構です。」と治療を怖がる。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.10：左緊張性気胸

TATOO シール

No. 10	勝美 漢太郎	60歳	男性
トリアージ区分:	①赤→②赤		
投入時間:	12分後		
受傷状況:	階段から転落し、胸部を強打		
主症状:	胸郭動揺、呼吸音左弱、皮下気腫、頸静脈怒張		
救護所まで:	担架		
呼吸:	35回/分	橈骨動脈:	触れない
CRT:	1秒	脈拍:	140bpm
血圧:	N/A	意識:	E2V3M4
歩行:	可能	既往歴:	なし
傷病名:	緊張性気胸		
手当・処置:	胸腔穿刺、胸腔ドレーン、補液、鎮痛、搬送		



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡：すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症：生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度：呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷：軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

胸部に「胸郭動揺」「皮下気腫」首に「頸静脈怒張」と明記したテープを貼る。

TATOO シール：なし

メーキャップ：胸部に青いアザを描く。

## 演技のポイント

状態： 階段から転落し胸を強打。血圧も下がり、死の一步手前。

登場： 仰向けに横たわり、胸を押さえ「ひーひー」と苦しそうに呼吸は浅く、早い。質問には全く答えられない。

演技： 救護者の問いかけには答えられない。意識が遠のき目の前が暗くなるような感じ。目も開いているか、いないか。救護者の痛み刺激（胸のあたりを強く押す）による状態の確認には、目をかろうじて開け体を少しよじるようにする。声は出せるが意味のある声ではない「あーあー」「うー」など。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.11：両下肢熱傷

No. 11	片岡 亮太	58歳	男性
トリアージ区分:	①黄		
投入時間:	12分後		
受傷状況:	料理中、大鍋に入っていた油を両足にかけた		
主症状:	両下肢の発赤・疼痛・水泡		
救護所まで:	担架		
意識:	清明	脈拍:	N/A
血圧:	N/A	橈骨動脈:	触れる
呼吸:	22/min	CRT:	1秒
歩行:	不能	既往歴:	なし
傷病名:	両下肢熱傷		
手当・処置:	包帯、鎮痛		



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡：すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症：生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度：呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷：軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール：両側大腿に熱傷のシールを貼る。水泡の感じを出すために部分的に空気を入れて貼る。

メーキャップ：両側大腿のシールの周りに広範囲に赤くムラージュ

## 演技のポイント

状態： 高熱の油を両側の大腿にかかってしまった。大腿は真っ赤になっており、一部皮が剥けたり、水ぶくれができています。筋肉や骨は問題ないため、立とうと思えば立てるが、大腿の皮膚の痛みが強すぎて、歩行は難しい状態。

登場： 座った状態で、両足を前に投げ出して「両方の足が痛い！」と大声で訴える。

演技： 意識清明で、指示には従うことができる。座り込み、両足を痛がる。痛みはとても強い。「早く助けてくれー！」と騒ぐ。大腿の前側は油でただれているので、触られるだけでも痛い。一方で、大腿の後ろ側は問題ないため、触られても全く痛みはない。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.12：急性腰痛症、右前腕切創

TATOO シール

No. 12 藤野 真理 25歳 女性

トリアージ区分： ①黄

投入時間： 12分後

受傷状況： 転倒して腰を強打。ガラスで右腕を切った。

主症状： 腰痛、右前腕切創

救護所まで： 担架

意識： 清明

脈拍： N/A

血圧： N/A

橈骨動脈： 触れる

呼吸： 15/min

CRT： 1秒

歩行： 不能

既往歴： なし

傷病名： 急性腰痛症、右前腕切創

手当・処置： 圧迫止血、包帯



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡：すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症：生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度：呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷：軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール： 右前腕切創 写真のまま（切り傷）

メイクアップ：なし

## 演技のポイント

状態： 急性腰痛症はいわゆるぎっくり腰である。骨も筋肉も異常はない。動かなければ腰痛はない。しかし、少しでも動こうとすると、強い腰痛を生じる。介助者がいれば歩けなくもないが、痛みは強く、そのスピードは極めて遅い。ほぼ歩けないと言っても良い。意識は清明で、指示には従うことができる。右腕はちょっと切ってしまった程度。

登場： 座っている状態で腰を気にしている

演技： 腰に影響がないように、そっと動こうとするが、少し動くごとに強い腰痛を生じる。腰痛が強く、歩行は難しい。周囲の人が手を貸そうとすると、「ゆっくり！ゆっくりお願いします！」と言って、そっと動こうとするが、痛みで動けない。

右前腕の切創を指摘されると、「確かに切れていますね。腰が痛すぎて気がませませんでした。」と、あまり気にしていない様子。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.13 : 頭部打撲

TATOO シール

No. 13 橘 茜 23歳 女性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 12分後  
受傷状況: 本棚から落ちてきた本が数冊頭に当たった  
主症状: 頭痛  
救護所まで: 自力歩行  
意識: 清明 脈拍: N/A  
血圧: N/A 橈骨動脈: 触れる  
呼吸: 15/min CRT: 1秒  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 頭部打撲  
手当・処置: なし



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: なし

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 頭頂部に本が数冊当たっただけであり、身体的には全く問題なし。

登場: なかなかトリアージや処置がなされず、周囲を歩き回って医療者に必死に話しかけようとする。

演技: 頭のとっぺんを押さえて痛がる。「広辞苑が落ちてきたんですよ!」と、不安が強い女性。トリアージが終わって待っているように言われても、何度かトリアージエリアに戻ってきては、「本当に自分は大丈夫か?」と、医療者を問い詰めたり、セカンドオピニオンを受けさせると言ったりして騒ぐ。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.14 : 両手掌切創

TATOO シール

No. 14 中島 祐介 65歳 男性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 12分後  
受傷状況: 転倒し、床に散らばっていたガラスで手を切った  
主症状: 両手掌の切創  
救護所まで: 自力歩行  
意識: 清明 脈拍: N/A  
血圧: N/A 橈骨動脈: 触れる  
呼吸: 15/min CRT: 1秒  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 両手掌切創  
手当・処置: 圧迫止血、包帯



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: 切創のシールを両側の手のひらに貼る

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 転倒して床に手をついた際、床に散らばっていたガラスで負傷。血は止まっている。傷は浅く、縫合は不要。

登場: 普通に歩いて登場。「手を擦りむいただけなんです。こんな軽症で来てしまってすみません。」

演技: 自分から疼痛を訴えることはない。「痛いですか?」と聞かれると、「少し。」と答える。手の感覚、運動は問題なし。精神的にも安定しており、不安で騒いでいる他の傷病者を落ち着かせようとする。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.15 : 左膝擦過傷

No. 15	佐々木 美樹	54歳	女性
トリアージ区分:	①緑		
投入時間:	12分後		
受傷状況:	転倒して膝をすりむいた		
主症状:	左膝擦過傷からの出血		
救護所まで:	自力歩行		
意識:	清明	脈拍:	N/A
血圧:	N/A	橈骨動脈:	触れる
呼吸:	15/min	CRT:	1秒
歩行:	可能	既往歴:	なし
傷病名:	左膝擦過傷		
手当・処置:	圧迫止血、包帯		



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: 左膝に擦過傷のシールを貼る

メーキャップ: 擦過傷シールから続くように、脛に向かって血が垂れてきているようにムラージュ

## 演技のポイント

状態: 左膝のみの擦り傷。うながされると歩ける。

登場: 「膝をちょっと打っちゃったのよ!」と、スカートの裾を上げて傷を見せる。

演技: 「ごめんなさいねー。ちょっと擦りむいちゃっただけなのよー。ほんとごめんなさいねー。」を繰り返す、元気なおばちゃん。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.16 : 左上肢 3 度熱傷・気道熱傷

TATOO シール

No. 16	廣田 祐	48歳	男性
トリアージ区分:	①赤→②赤		
投入時間:	0分後		
受傷状況:	ビル内の消火活動中に受傷		
主症状:	左上肢熱傷、顔面の煤、呼吸苦		
救護所まで:	担架		
呼吸:	32回/分	橈骨動脈:	触れる
CRT:	2秒	脈拍:	120bpm
血圧:	80/52mmHg	意識:	清明
歩行:	不能	既往歴:	なし
傷病名:	左上肢3度熱傷、気道熱傷		
手当・処置:	挿管、補液、保温、鎮痛、搬送		



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡：すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症：生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度：呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷：軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール：上腕と前腕全体に、シールを組み合わせて広範囲に貼る

メーキャップ：顔にスス付着、左腕白く

## 演技のポイント

状態： 左の腕全体、熱い空気や煙を吸い込み、のども熱傷している状態。

意識ははっきりしているが息が苦しいので、受け答えが困難。

登場： 息がとても苦しい（「ヒューヒュー」と喘息の人のように苦しそうに息をする）  
左腕をめくって見せながら「左腕。火傷。痛くない。苦しい。」と、うなずきと共に返答。

演技： のどが腫れているので、鳴らすような感じで苦しそうに呼吸する。とても息が苦しい、「はっはっはっ」と早く浅い呼吸。呼吸が早すぎて、一度に話せるのは単語のみ。  
相手の言っていることは理解できるが、何しろ息が苦しい為、返答がうまくできない。  
左腕の熱傷は痛みを通り越して、痛くない。触っている感覚もない。



# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.17：気管支喘息発作

TATOO シール

No. 17 佐藤 香奈子 23歳 女性

トリアージ区分：①緑

投入時間：0分後

受傷状況：埃が舞う中、避難をしていたら呼吸苦出現

主症状：呼吸苦、両側肺野でwheeze著明

救護所まで：自力歩行

呼吸：24回/分 橈骨動脈：触れる

CRT：1秒 脈拍：N/A

血圧：N/A 意識：清明

歩行：可能 既往歴：なし

傷病名：気管支喘息発作

手当・処置：



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡：すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症：生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度：呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷：軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール：なし

メーキャップ：なし

## 演技のポイント

状態：もともとある喘息の発作を起こしている。(ビル内の埃がひどかったため)

登場：「どうしましたか？」問いかけに「もともと喘息で、埃に弱いのですが、ビルの中が埃だらけで…ヒューヒュー（喘息音）」

演技：呼吸は息を吐くときにヒューヒューと音をさせる。難しい場合には、吸うときに音を出してもかまわない。救護者に声をかけられた場合、以前から喘息があったと話す。あわせて、息苦しいので表情も苦しそうにする。

横になることはできるが、呼吸は苦しくなる。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.18 : 左足関節捻挫

TATOO シール

No. 18 加藤 昇平 56歳 男性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 0分後  
受傷状況: 避難中に転倒した  
主症状: 左足首の腫脹・疼痛  
救護所まで: 自力歩行  
呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: N/A  
血圧: N/A 意識: 清明  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 左足関節捻挫  
手当・処置: 固定、鎮痛



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

左足首に「腫脹」と明記したテープを貼る。

TATOO シール: 左足首アザ

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 左足を捻挫している。歩行は可能。

登場: 足を引きずるようにして、救護所に到着。

演技: 足をかばうようにして歩く。たまにケンケンしている。足首を触られたり、動かされると痛がる。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.19 : 右肩関節脱臼

TATOO シール

No. 19 横山 明 31歳 男性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 0分後  
受傷状況: 戸棚が倒れてきて、右肩に直撃  
主症状: 右肩の腫脹・疼痛・可動域制限  
救護所まで: 自力歩行  
呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: N/A  
血圧: N/A 意識: 清明  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 右肩関節脱臼  
手当・処置: 三角巾、鎮痛



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

右肩に「右肩腫脹」「変形」と明記したテープを貼る

TATOO シール: なし

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 戸棚が倒れてきて、右肩を直撃。右肩を脱臼している。歩行は可能。

登場: 「右の肩がすごく痛くて動かないのですが」

演技: 肩の痛みが強く、右手をぶらんとさせている。腕を動かしたり、腕を上げたりはできない。救護者が腕を動かした場合「痛い痛い。痛くて動きません。」動かさなければ、手首・肘などを触られても問題なし。

右手の感覚・運動は問題なし。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.20 : クラッシュ症候群

No. 20	黄 晟嘉	52歳	男性
トリアージ区分:	②緑		
投入時間:	5分後		
受傷状況:	崩れてきた建築材に長時間右足を挟まれていた		
主症状:	右下肢の腫脹・水泡・打撲痕		
救護所まで:	担架		
呼吸:	20回/分→60回/分	橈骨動脈:	触れる→触れない
CRT:	1秒→4秒	脈拍:	N/A→200bpm
血圧:	N/A→70/40mmHg	意識:	清明→E2V1M5
歩行:	不能	既往歴:	なし
傷病名:	クラッシュ症候群		
手当・処置:	補液(K無し)、搬送		



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡 : すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症 : 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度 : 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷 : 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール : 右下腿紫色アザ 水泡の感じを出すために部分的に空気を入れて貼る

メーカーキャップ : なし

## 演技のポイント

状態 : 横たわっている。「日本語できません」以下ジェスチャーで足が痛い。長い間はさまれていたことを伝えようとする。

登場 : 横たわっている。「日本語できません」以下ジェスチャーで足が痛い。長い間はさまれていたことを伝えようとする。

演技 : 急変前→救護者が駆け付けた当初は意識もあり、足の痛みをアピールする。体を動かしてコミュニケーションをとろうとする。しだいに、胸が苦しくなる。周りに訴えかけるように胸を押さえて苦しがる。意識を失う。

急変後→呼びかけには全く反応しない。目も開けない、声も出さない、体も動かさない。救護者の痛み刺激(胸のあたりを強く押す)による状態の確認には目をかろうじて開け、その手を払いのけようとする。声は出さない。呼吸は浅く早い。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.21 : 左下腿挫創

No. 21 柴崎 康史 19歳 男性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 5分後  
受傷状況: 避難中に落ちていた看板と接触  
主症状: 左下腿の挫創、出血  
救護所まで: 自立歩行  
呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: N/A  
血圧: N/A 意識: 清明  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 左下腿挫創  
手当・処置: 圧迫止血、包帯、鎮痛



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: 挫創

メーカーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 左スネを怪我して、出血している。縫合が必要な切り傷がある。

登場: 左足をかばいながら「足元の看板に気が付かなかったんです…」

演技: 救護者への受け答えも指示をきくこともできる。傷を気にして歩きにくそうに足をひきずる。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.22：急性硬膜外血腫

TATOO シール

No. 22 宮村 博人 40歳 男性  
トリアージ区分: ①赤→②赤  
投入時間: 7分後  
受傷状況: 天井のテレビが落ちてきて頭に直撃  
主症状: 頭頂部出血、意識障害、嘔吐  
救護所まで: 担架  
呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: 60bpm  
血圧: 180/90mmHg 意識: E3V3M4  
歩行: 不能 既往歴: なし  
傷病名: 急性硬膜外血腫  
手当・処置: 圧迫止血、頸椎固定、体位管理、搬送、(挿管)



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: なし

メーキャップ: 頭頂部から血液が滴り落ちてくるように、顔に赤い線を描く。

## 演技のポイント

状態: 落ちてきたテレビが頭にあたって、頭の中で出血している状態。吐気が強く、嘔吐が続いている。

登場: 倒れている。呼びかけられて、目は開けるが、呼びかけをやめると、すぐに目を閉じる。声は出るが、質問には答えられない。

演技: 意識がもうろう、強く呼びかけられてやっと目を開ける。質問には答えられない。「あー」「うー」等のうめき声、質問とは全く関係ないことを口走る「テレビ…テレビ…うー」など。合わせて何度か吐く真似をする。救護者の痛み刺激（胸のあたりを強く押す）による状態の確認には痛みで体を少しよじる。声は出しても会話としては成立しない「うう…」「あーあー」など。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.23 : 右大腿骨開放骨折

TATOO シール

No. 23	勘解由小路 淳	44歳	男性
トリアージ区分:	①黄	→	②赤
投入時刻:	7分後		
受傷状況:	柵が右足に倒れてきて下敷きになった		
主症状:	右大腿の変形・腫脹・出血		
救護所まで:	担架		
呼吸:	24回/分→60回/分	橈骨動脈:	触れる→触れない
CRT:	2秒→4秒	脈拍:	N/A→120bpm
血圧:	70/40mmHg	意識:	清明→E2V1M5
歩行:	不能	既往歴:	なし
傷病名:	右大腿骨開放骨折		
手当・処置:	固定、鎮痛 →ショックになったら補液、挿管、搬送		



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

開放骨折の模型がない場合、右大腿部に「変形」「骨が見えている」と明記したテープを貼る

メーキャップ: 挫創(骨露出)モデルを使う  
顔を少し悪くしたほうがいい?

## 演技のポイント

状態: 柵が崩れてきて右足が下敷きになった。足は服の外から見ても分かるくらい変形している。骨は皮膚から飛び出ており、大量の出血も持続している。

登場: 必死の形相で右太ももを痛がる。最初の救護者の問いかけには痛みを強く訴える。

演技: 急変前→救護所に到着直後は痛みを強く訴える。「右足が痛い!! どうにかしてくれー」  
救護者が最初に状態を確認している時とにかく足が痛い!! と訴える。確認が終わり、搬送の途中(搬送まで時間がかかる場合はその待機時間に)容態が急変。

急変後→呼びかけには全く反応しない。

救護者の痛み刺激(胸のあたりを強く押す)による状態の確認には目を少し開けて反応し、痛いところへ手を持っていく。声は出さない。

呼吸は浅く早い。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.24 : 頭部打撲

TATOO シール

No. 24 大塚 和佳子 65歳 女性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 7分後  
受傷状況: 本棚から滑り落ちてきた本が頭に当たった  
主症状: 頭頂部に皮下血腫  
救護所まで: 自力歩行  
呼吸: 20回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: N/A  
血圧: N/A 意識: 清明  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 頭部打撲  
手当・処置:



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

「頭部打撲」と明記したテープを貼る

TATOO シール: なし

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 意識は保たれており、歩行可能。頭をちょっとぶつけた程度。

登場: 頭をさすりながら、「もうだいぶ良くなったのですが、頭をぶつけました。」

演技: 救護所に着いたことで、けがに対する痛みは薄れる。

### 【トリアージ後】

救護所を選別され、救護者が誰もいなくなった時など、心配になり周りの様子を見に行く、家族と連絡を取りたいと要求する、「いつまでここにいないか」と詰め寄るなど、不安を表現する。



# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.25 : 左前腕切創

TATOO シール

No. 25 中村 洋輔 42歳 男性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 7分後  
受傷状況: 落下してきたガラスで左前腕を切る  
主症状: 左前腕の切創、出血  
救護所まで: 自力歩行  
呼吸: 15回/分 橈骨動脈: 触れる  
CRT: 1秒 脈拍: 90bpm  
血圧: N/A 意識: 清明  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 左前腕切創  
手当・処置: 圧迫止血、包帯



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: 左前腕切創

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 上から降ってきたガラスで左腕に切り傷があり、血が出ている。縫合が必要。  
意識は保たれており、歩行は可能。傷口にガラスは残っている。

登場: 「いやーびっくりしました。まさか上からガラスが降ってくるなんて」

演技: 左腕の痛みと出血は持続している。  
左手の感覚、運動は問題なし。  
痛みよりも、家族に対する心配が強い様子。

### 【トリアージ後】

救護所を選別され、救護者が誰もいなくなった時など、心配になり周りの様子を見に行く、家族と連絡を取りたいと要求する、「いつまでここにいないか」と詰め寄るなど、不安を表現する。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.26 : 両手掌切創

TATOO シール

No.26 岡本 直樹 52歳 男性

トリアージ区分: ①緑

投入時間: 7分後

受傷状況: 転倒して手をつき、床のガラスで手掌を切る

主症状: 両側手掌の切創、出血

救護所まで: 自力歩行

意識: 清明

脈拍: N/A

血圧: N/A

橈骨動脈: 触れる

呼吸: 15/min

CRT: 1秒

歩行: 可能

既往歴: なし

傷病名: 両手掌切創

手当・処置: 圧迫止血、包帯



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: 両手のひらに切創のシール

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 転倒して床に手をついた際、床に散らばっていたガラスで負傷。血は止まっている。傷は深く、縫合は必要。

登場: 普通に歩いて登場。

「倒れている本棚に気づかなかったんです。結構しっかり切れちゃってますね。」

演技: 自分から疼痛を訴えることはない。「痛いですか?」と聞かれると、「少し。」と答える。手の感覚、運動は問題なし。精神的にも安定しており、不安で騒いでいる他の傷病者を落ち着かせようとする。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.27 : 右肘打撲

No.27 藤崎 久子 67歳 女性  
トリアージ区分: ①緑  
投入時間: 7分後  
受傷状況: 転倒して右肘を強打  
主症状: 右肘の皮下出血  
救護所まで: 自力歩行  
意識: 清明 脈拍: N/A  
血圧: N/A 橈骨動脈: 触れる  
呼吸: 15/min CRT: 1秒  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 右肘打撲  
手当・処置:



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

右肘に「打撲痕」と明記したテープを貼る

TATOO シール: 皮下血腫 7×5cm 楕円

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 右肘の打撲

登場: 普通に歩いて登場。  
「転んでしまったら、その後から肘が痛くて・・・。」

演技: 右肘を触られると、顔をしかめるが、問題なく曲げ伸ばしができる。感覚や運動も問題なし。  
「折れてますか?」「家族と連絡が取りたいのですが・・・。」としきりに話しかけてくる。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.28 : 頸髄損傷

TATOO シール

No.28 林 太郎 28歳 男性

トリアージ区分: ②黄

投入時間: 13分後

受傷状況: 階段で移動中、バランスを崩して転落

主症状: 四肢が動かない

救護所まで: 担架

意識: 清明

脈拍: N/A

血圧: N/A

橈骨動脈: 触れる

呼吸: 15/min

CRT: 1秒

歩行: 可能

既往歴: なし

傷病名: 頸髄損傷

手当・処置: 頸部保護

なし

### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: なし

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 頸髄損傷。

意識は清明なもの、首から下を全く動かすことができなければ、感覚も全くない状態。

登場: 担架で搬入。手足は全く動かさない。

「僕の体はどうなってしまったんですか!!!」

演技: 首から下が動かせず、感覚もないため、不安感が強い。

「僕の体、動いてないんですか?」「何も感じない!」「また元に戻りますよね?」と何回も繰り返す。呼吸は腹式呼吸で、若干辛そうにする。その他、全身状態は安定している。

首が強い衝撃を受けている為、乱暴に移動や搬送が行われた場合、模擬傷病者の判断で突然心肺停止状態に変化させる。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.29 : 両足底切創

TATOO シール

No.29 松田 典子 47歳 女性  
トリアージ区分: ②黄  
投入時間: 13分後  
受傷状況: 誤って割れたガラスの上を素足で歩いてしまった  
主症状: 両側足底の切創、出血  
救護所まで: 担架  
意識: 清明 脈拍: N/A  
血圧: N/A 橈骨動脈: 触れる  
呼吸: 15/min CRT: 1秒  
歩行: 可能 既往歴: なし  
傷病名: 両足底切創  
手当・処置: 圧迫止血、包帯



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡: すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症: 生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度: 呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷: 軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: 両側の足底に切創のシール

メーキャップ: なし

## 演技のポイント

状態: 両側の足の裏の切り傷。血は止まっている。傷は浅く、縫合は不要。  
意識は清明で、指示に従うことができる。

登場: 四つん這いで登場。「靴が脱げて、足の裏を切っちゃいました。」

演技: 両側の足の裏を切っちゃって、痛くて歩くことができない。四つん這いであれば、自力で移動可能。足の裏を触られると痛がる。なぜ靴を履いてないのか聞かれると、「何かにひっかかって、靴が脱げちゃいました。」と答える。

# トリアージ訓練用 傷病者演技マニュアル

## 傷病者情報

症例 No.30 : 右膝擦過傷

No.30	月森 唯	29歳	女性
トリアージ区分:	①緑		
投入時間:	13分後		
受傷状況:	避難中に転倒した		
主症状:	右膝の擦過傷からの出血		
救護所まで:	自力歩行		
意識:	清明	脈拍:	N/A
血圧:	N/A	橈骨動脈:	触れる
呼吸:	15/min	CRT:	1秒
歩行:	可能	既往歴:	なし
傷病名:	右膝擦過傷		
手当・処置:	圧迫止血、包帯		



### 【トリアージ色わけ】

- 死亡:すでに死亡している、もしくは救命が不可能。
- 重症:生命の危険があり、すぐに処置が必要。
- 中等度:呼吸、脈拍、血圧などは安定している。多少治療が遅れても、生命の危険が低い。
- 軽傷:軽傷で専門的な治療を必要としない。

## ムラージュ指示

TATOO シール: 右膝に擦過傷のシールを貼る

メーキャップ: 擦過傷シールから続くように、脛に向かって血が垂れてきているようにムラージュ

## 演技のポイント

状態: 右膝を痛がるものの、曲げることは可能。感覚も運動も問題なし。  
傷はすりむいた程度である。

登場: 普通に歩いて登場。

演技: 身体的には擦り傷であり、特に問題なし。  
なかなかトリアージ、処置が進まずイライラしている。  
「早く子供を迎えに行かないと！」と訴える。